

私達が近づくとカニ達は、自分達で穴を掘りはじめ、もぐってしまおうという、おもしろい行動をしました。

カヌーがこぎ終わりに、日本最大の「サキシマスオウノキ」という根が板状で3メートルもある木を見学しました。本当に大きすぎて根もかたい板なので、ビックリしました。そして、帰る途中、私達は幸運にも、数年に一度しか見られない「ナンヨウショウビン」というまぼろしといってもいい、青い鳥を見ました。横芝では、なかなかこんなきれいな川で、カヌーをすることはできません。こんな貴重な体験ができてよかったです。沖縄で学んだことを、自分に生かして、横芝の良さも見ていけたらなあと思います。



▲日本では珍しい旅鳥「ナンヨウショウビン」

## 沖縄に行つて



大総小 5年 菫原 竜司

ぼくが沖縄に行つて印象に残ったことは、西表島で見た「サキシマスオウノキ」です。行く前の事前研修の時からこの二つはとても楽しみにしていました。

一日目は、川平湾のグラスボートや竹富島でサイクリングをしました。

そして二日目、ぼくが一番楽しみにしていた研修です。

いちばん最初は、カヌーです。カヌーでこぐきよりは約6キロ、ついたころにはとても疲れていると思いました。でも途中で陸に上がり、「オヒルギ」「ヒルギダマシ」「マヤブシキ」「ヤエヤマヒルギ」などを見ながら行つたので、あまり疲れませんでした。

しかし、途中でカニをつかまえるためのワナや大きな岩があり少しこぎにくかったです。終わったあとの達成感がとてもありました。

そして、その後ボートで

「サキシマスオウノキ」のある所まで行きました。

この木は、想像していたよりおおきくて、大総小学校にある「クスノ木」もはく力があります。サキシマスオウノキは、クスノ木の何倍もはく力がありました。

そして帰りのボートで「ナンヨウショウビン」という西表島の人でも見られるかわからない鳥を見たので、すごく良い思い出ができました。

ぼくは、この研修でいろいろな自然とふれあい、沖縄のすばらしさを知りました。



▲干潟でちょっと観察「オヒルギ」



▲竹富島でサイクリング!!



▲西表島仲間川でのカヌー体験